

平成30年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 正副会長選出
- 5 議 事
 - (1) 平成30年度考古博物館経過・予定事業について
 - (2) 考古博物館利用状況について
 - (3) 委員提言に対する対応・検討状況について
 - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成30年11月13日(火)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成30年度 考古博物館経過・予定事業について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	2
3 イベント	5
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6
5 古代衣装貸し出し	7
6 ボランティアガイドの実施	7
7 平成31年度 第37回特別展（予定）について	7
◇ 考古博物館利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	8
(2) 特別展観覧者数	9
(3) 学校関係利用状況	10
(4) 総利用者数	11
◇ 委員提言に対する対応・検討状況について	12
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	14
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	15

◇ 平成30年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 開館35周年記念特別展『古代アンデス文明展』

会期：5月19日(土)～7月16日(月・祝) 開催日数51日

会場：山梨県立考古博物館

入館者：25,981人

概要：「黄金の都シカン発掘展」、「世界遺産ナスカ展」、「インカ帝国展」など、国立科学博物館とTBSテレビが20年以上にわたって行ってきた「アンデスプロジェクト」の集大成として開催しました。古代アンデス文明を代表する9つの文化を取り上げ、アンデス文明が長い年月の間にどのように発達し、何を成し遂げ、どのような遺産を後世に残したのかについて、考古学、人類学それぞれの視点から紹介し、考古博物館開館35周年を記念して、海外の優れた考古資料についての学習の機会を提供しました。

(2) 企画展

① ゴールデンウィークミニ展示『繁栄を迎えた酒呑場遺跡』

会期：4月21日(土)～5月6日(日) 開催日数15日

会場：考古博物館多目的室

入館者：2,209人

概要：国指定重要文化財「酒呑場遺跡出土品」の保存修理事業により、当時の姿を取り戻した造形美豊かな美しい土器などを紹介しました。

② 夏季企画展『願いをかなえてほとけさまー甲斐の古代寺院ー』

会期：7月28日(土)～9月2日(日) 開催日数33日

会場：考古博物館多目的室

入館者：4,199人

概要：古代甲斐における仏教の導入と展開について紹介しました。新しい信仰体系がどのように受容され、古墳時代から奈良・平安時代にかけてどのように浸透していったかを考古資料から紹介し、現代に与えた影響について理解を深める機会としました。夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象にスタンプラリーイベントを開催し、ワークショップも実施しました。

③ 秋季企画展「うずまくみずのかたちー水煙文土器の世界ー」

会期：10月6日(土)～11月25日(日) 開催日数44日

会場：考古博物館多目的室

概要：渦巻く水煙を思わせる文様が特長である水煙文土器は、国宝の火焰型土器にも劣らぬ躍動感と高い芸術性を秘めた造形美を持ち、山梨でも屈指の縄文土器のひとつです。展示では、県内で出土した水煙文土器を一堂に集め、縄文人の優れた感性と技術を紹介しています。

- ④ 冬季企画展「山梨市の出土品Ⅰ」
 会 期：12月15日（土）～1月27日（日） 開催日数31日
 会 場：考古博物館多目的室
 概 要：自治体に専門の施設を持たない地域の出土品を紹介する冬の企画展です。
 28・29年度年度の甲斐市に次いで、今回は山梨市の遺跡を紹介します。
- ⑤ 新年干支展『亥』
 会 期：1月2日（水）～1月27日（日） 開催日数19日
 会 場：考古博物館エントランスホール
- ⑥ 『第16回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
 会 期：2月9日（土）～3月3日（日） 開催日数20日
 会 場：考古博物館多目的室
- ⑦ 『富士山の日ミニ展示』
 会 期：2月9日（土）～2月28日（火） 開催日数17日
 会 場：考古博物館エントランスホール
- ⑧ 『風土記の丘望見展』
 会 期：3月2日（土）～4月7日（日） 開催日数33日
 会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール
- ⑨ 『山梨の遺跡発掘展2019』
 会 期：3月9日（土）～4月7日（日） 開催日数27日
 会 場：考古博物館多目的室
 主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「“交い”の原風景—甲府盆地を介した弥生後期の広域交流—」をテーマに開催しました。最新の考古学成果をもとに解説いただきながら、山梨の弥生時代後期～古墳時代初頭の様相について考える機会となりました。

- 第1回 8月 4日（土） 「導入された他地域の墓制—甲府盆地の周溝墓—」
 講師：考古博物館 一之瀬 敬一 受講者：33人
- 第2回 8月18日（土） 「土器から見る地域間交流とその諸相」
 講師：大月市教育委員会 稲垣 自由 氏 受講者：36人
- 第3回 9月 1日（土） 「青いガラスと甲府盆地」
 講師：山梨県立博物館 西願 麻衣 氏 受講者：36人
- 第4回 9月22日（土） 「総論：古墳出現前夜の東日本と甲府盆地」
 講師：東海大学文学部教授 北條 芳隆 氏 受講者：43人

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鋳山史などを専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。今年度は「甲府城の考古学」をテーマに6回開催します。

- 第1回 4月21日(土) 「甲府城と倭城と織豊城郭」
受講者：54人
- 第2回 6月9日(土) 「甲府城の築城者をめぐる謎」
受講者：67人
- 第3回 8月25日(土) 「天守台と櫓台
—甲府城・都留勝山城・躰躰ヶ崎館—」
受講者：84人
- 第4回 10月13日(土) 「高石垣と金箔瓦と天守、そして徳川家康包囲網」
受講者：59人
- 第5回 12月15日(土) 「甲府城の天守の謎に迫る」
- 第6回 2月16日(土) 「戦国甲府城下町と近世甲府城下町」

(3) 縄文問答2018

28年度から開催のミニ講座です。今回は秋季企画展の開催に合わせて、考古博物館の展示室で講師が実際に出土品を見せながら解説し、縄文時代のさまざまな疑問に答えていただきます。

- 10月20日(日) 「水煙文土器の世界」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏
受講者：71人

(4) 特別展記念講演会

特別展『古代アンデス文明展』の開催を記念して、講演いただきました。

- 6月10日(日)
「アンデスのミイラーその誕生から消滅まで」
講師：国立科学博物館副館長兼人類研究部長 篠田 謙一 氏
「インカ帝国はなぜ滅びたか」
講師：東京大学大学院総合文化研究科教授 網野 徹哉 氏
受講者：114人

(5) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

小中学生親子を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

- 第1回 4月22日(日) 「ゴージャス勾玉づくり・古代衣装着用体験」
参加者：38人
- 第2回 6月17日(日) 「アンデスの染め物にチャレンジ」（特別展連携）
参加者：28人
- 第3回 7月8日(日)・15日(日)
「アンデスの絵皿づくりにチャレンジ」（特別展連携）

- 参加者：69人
 第4回 8月5日(日) 「ミニミニ青銅鏡づくり～古代の輝き体験～」
 参加者：27人
 第5回 8月19日(日) 「石膏で青銅鏡づくり～本物そっくり体験～」
 参加者：30人
 第6回 9月2日(日) 「縄文時代の石製耳飾りペンダントづくり
 にチャレンジ」
 参加者：33人
 第7回 9月30日(日)・10月21日(日)
 「石包丁づくりにチャレンジ、
 収穫・古代衣装着用体験」
 参加者：57人
 第8回 11月18日(日) 「縄文ポシェットづくりにチャレンジ」
 第9回 12月2日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」
 第10回 1月13日(日)・20日(日)・2月3日(日)
 「縄文土器づくりにチャレンジ」
 第11回 2月17日(日) 「弥生時代の土笛づくりにチャレンジ」
 第12回 3月17日(日) 「縄文土偶づくりにチャレンジ」

(6) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月21日(土) 「けつ状耳飾りペンダント作り体験」
 参加者：9人
 第2回 6月2日(土) 「陶器作り体験」
 参加者：5人
 第3回 6月10日(日) 「アンデスのコチニール染め体験」(特別展連携)
 参加者：14人
 第4回 7月1日(日)・7日(土) 「アンデスの絵皿を作ろう」
 (特別展連携)
 参加者：17人
 第5回 8月4日(土) 「青銅器・銅剣形ペーパーナイフ作り体験」
 参加者：8人
 第6回 9月9日(日) 「和鏡作り体験」
 参加者：13人
 第7回 10月20日(土) 「石膏で大型青銅鏡作り体験」
 参加者：8人
 第8回 10月28日(日) 「土器ドキクッキー作り体験」
 参加者：10人
 第9回 11月4日(日) 「陶器作り体験」
 参加者：14人
 第10回 12月9日(日)・16日(日) 「トンボ玉作り体験」

第11回 1月12日(土)・19日(土)・2月3日(日) 「縄文土器作り体験」

第12回 2月 9日(土)・10日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り体験」

第13回 3月 2日(土) 「ガラス製勾玉ペンダント作り体験」

第14回 3月10日(日) 「土偶・古墳形クッキー作り体験」

(7) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めます。

第73回 9月9日(日) 「国史跡・梅之木遺跡と周辺を歩く」

参加者：29人

第74回 11月4日(日) 「七里岩を歩訪ねる」

参加者：29人

第75回 3月10日(日) 「甲府城下町を歩く」

3 イベント

(1) 第30回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

5月3日(水)・4日(木) 風土記の丘研修センターと周辺エリア

参加者：4,027人

火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

① 5月26日(土)・7月8日(日) 『アルパカ記念撮影会』(特別展連携)

参加者：1,057人

② 11月20日(火) 『県民の日イベント』

③ 1月 3日(木) 『お正月イベント』

④ 2月23日(土) 『富士山の日関連イベント』

⑤ 3月 3日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント

① 6月16日(土)～8月19日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』

(公園管理者と共催)

② 6月23日(日) 『七夕人形作り』 参加者：27人

③ 9月 8日(土) 『方形周溝墓で星空を見る会』(公園管理者と共催)

参加者：78人

④ 10月14日(日) 『秋のふれあいまつり』(公園管理者と共催)

参加者：749人

⑤ 11月23日(金・祝) 『落ち葉で焼きいも』(公園管理者と共催)

⑥ 1月14日(月・祝) 『古代米でもちつき』(公園管理者と共催)

(4) 夏休みスタンプラリー

7月24日(火)～8月26日(日)

スタンプブックを持った入館者で希望者がアクセサリ作り体験などをする夏休みの企画です。

- ① 『とんぼ玉をつくろう!』
- ② 『勾玉・大珠をつくろう!』
- ③ 『プラバン de 瓦バッジをつくろう!』
- ④ 『ミニミニ青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『なぞとき考古博～夏休みスペシャル～』
- ⑥ 『ミニミニ☆発掘パズル』

参加者合計：650人

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月16日(月・祝) アイメッセ山梨(甲府市)

参加者：48人

(6) 第16回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月9日(土) 考古博物館エントランスホール

(7) 縄文王国山梨

「Jomon FES 2018～縄文まつり～」

日時：11月11日(日) 10:30～16:30

会場：甲府駅北口よっちゃばれ広場

(8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

(9月末現在)

①火起こし体験

参加者：2,892人

②勾玉作り

参加者：1,926人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験を受け入れました。大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は2名を受け入れ、8月1日～8月11日に実施しました。

学芸員実習	8月1日～11日	山梨大学	1人
		東京女子大学	1人

職場体験	7月4日・5日	山梨北中2年生	3人
	7月24日・25日	上条中2年生	4人
	7月25日・26日	山梨南中2年生	1人
	7月26日・27日	県立ろう学校中等部3年生	1人
	7月31日～8月1日	城南中2年生	5人
	8月1日・2日	城南中2年生	4人
	8月7日～9日	甲府南中2年生	2人

8月7日～9日	田富中2年生	2人
8月8日・9日	甲府南中2年生	1人
8月13日	押原中2年生	2人

インターンシップ 7月25日～27日 白根高校2年生 2人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントでの活用を進めています。

5月12日(土)～5月24日(木)	やまびこ支援学校
6月16日(土)～6月30日(土)	あけぼの支援学校
6月27日(水)～7月6日(金)	わかば支援学校
10月5日(金)～10月19日(金)	海老名市教育委員会

合計：4件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢15名で活動中。

4月	6日間(延べ11名;開館日数26日)
5月	9日間(延べ12名;開館日数26日)
6月	なし(特別展期間のため)
7月	6日間(延べ8名;開館日数22日)
8月	13日間(延べ18名;開館日数28日)
9月	5日間(延べ6名;開館日数26日)
10月	7日間(延べ11名;開館日数26日)

7 平成31年度 第37回特別展(予定)について

テーマ：『縄文文化の頂点』(仮称)

会期：平成31年10月2日(水)～11月24日(日) 47日間

会場：山梨県立考古博物館

概要：縄文時代に最も人口が多かったと推定される中期の中部高地を中心に、その成立から解体までの変遷について解説しながら、縄文文化の到達点と言える資料を紹介します。また、中期文化の解体後、石を用いた新たな祭祀による縄文後期の文化も取り上げます。

当館所蔵資料を含む日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の認定、東京国立博物館での「縄文ー1万年の美の鼓動ー」やパリにおけるジャポニスム2018「縄文」展など、日本の縄文文化が注目を集めている中で、縄文文化の頂点の一つである山梨の資料を県外の出土品と比較しながら紹介することにより、その価値をさらに広めることを目的とします。

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成30年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館 日数	常 設 展											特別展	合計 (常設+特別)	累 計			
		個 人		団 体		割引(セト券・宿泊等)		旅行会社クーパーン		年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)				教育課程	招待者	計
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高									
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705	30,687	30,687	30,687		
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	8,395	57,190		
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	5,239	45,961		
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,628	4,015	39,643		
61	302	14,667	4,154	4,370	3,851							7,471	3,793	38,106	10,014	48,120		
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558	38,880	3,517	42,397		
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916	39,554	5,123	44,677		
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	5,625	48,307		
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700							10,504	2,807	47,602	6,597	54,199		
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	5,789	50,724		
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610	40,795	6,174	46,969		
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492	40,640	4,591	45,231		
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216						48	7,388	3,708	35,036	6,286	41,322		
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076						11,230	6,845	3,573	47,962	90,082	138,044		
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089						3,455	4,908	2,910	30,950	18,483	49,433		
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594						2,633	4,125	2,442	25,575	5,195	30,770		
10	290	7,057	1,566	556	5,410						3,586	4,166	2,283	25,080	13,165	38,245		
11	288	6,283	1,705	521	4,208						2,339	4,409	1,839	21,636	6,812	28,448		
12	288	5,616	1,459	797	2,958						3,201	3,919	1,877	20,094	9,227	29,321		
13	292	5,717	1,560	800	2,271						2,517	3,683	1,191	17,989	6,035	24,024		
14	289	5,423	1,398	396	2,598						2,670	3,397	1,428	17,879	6,373	24,252		
15	290	4,444	1,312	479	2,379						2,887	3,465	1,065	16,602	8,127	24,729		
16	298	4,377	1,141	557	1,822						2,397	3,519	1,202	15,346	5,064	20,410		
17	296	4,432	1,105	307	2,874						3,265	3,093	1,039	16,555	5,154	21,709		
18	300	4,876	1,222	326	3,543		5				2,844	3,145	1,863	18,428	4,613	23,041		
19	301	17,512	7,004	346	3,482		30	38	78	608	11,546	3,139	2,070	50,887	51,241	102,128		
20	298	4,548	2,187	229	4,276		158	17	63	261	2,944	525	3,919	22,483	6,549	29,042		
21	290	4,537	2,524	212	3,854		98	69	43	271	3,049	354	3,553	21,847	5,068	26,915		
22	300	3,858	1,958	305	4,128		716	68	78	270	2,562	396	3,798	20,570	4,329	24,899		
23	299	3,768	2,073	202	5,167		1,176	64	140	254	2,948	837	3,022	23,659	6,773	30,432		
24	296	4,360	6,884	85	5,056		16,900	618	825	21,177	1,697	3,699	3,055	64,356	64,865	129,221		
25	293	3,833	3,798	186	4,168		724	55	133	274	3,343	713	3,286	23,125	6,545	29,670		
26	268	4,333	8,247	131	422		422	11		260	3,019	3,930	2,874	23,227	5,017	28,244		
27	297	4,669	8,202	51	998		998			246	3,889	3,653	3,014	24,722	5,945	30,667		
28	297	4,583	6,877	110	536		536	4		172	3,728	3,704	2,657	22,371	6,044	28,415		
29	296	5,080	7,544	94	772		772	4		183	4,478	3,127	2,941	24,223	6,067	30,290		
30	174	3,089	8,141	212	4,158		4,158			383	10,885	2,760	2,178	31,806	25,981	57,787		
計	10,586	333,214	142,168	76,367	137,940		28,757	1,067	535	4,042	116,650	17,297	195,618	97,649	1,151,444	1,595,563		

特別展観覧者数

平成30年10月末日現在 (単位:人)

年度	開催日数		個人		団体		割引制度(小学生・中学生・高校生)		前売券	旅行会社 クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内容	
	大学	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学	小・中・高	大学	小・中・高												
58	46	2,807	723	1,405	215									1,800	1,445	8,395	183	1	土偶	
59	35	1,840	308	926	26									1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒道具	
60	37	1,362	161	832	36									785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁	
61	56	3,232	520	1,065	8									2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と畿内王権	
62	29	1,461	274	317	28									571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化	
63	28	1,924	242	359	24									1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具	
1	31	1,098	264	616	316									2,522	809	5,625	181	7	一粒の稲履	
2	36	1,503	242	448	81									3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる	
3	36	1,100	199	350	3									3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界	
4	36	2,263	344	414	115									1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代	
5	35	840	101	231										2,446	973	4,591	131	11	山梨の経塚	
6	36	2,414	534	96										1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑	
7	44	55,623	9,554	1,943	576							10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカノ発掘展	
8	32	7,999	1,432	259	219							982	608	2,140	420	14,059	439	14	ネアンデルタール人の復活展	
9	19	1,268	178	92								583	125		2,178	4,424	233	15	新発見考古速報展	
10	44	5,173	883	151	458							587	62	737	1,770	5,195	157	16	韓国・忠清北道の古代文化展	
11	39	1,965	394	166	457							1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	17	遙かなるエジプト展	
12	39	2,842	383	179	173							611	87	1,634	1,478	6,812	175	18	縄文の旅	
13	44	1,555	309	205	205							1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	19	中国四川省古代文物展	
14	38	1,884	449	274	89							721	92	1,913	1,035	6,035	137	20	黄金の輝き	
15	38	1,965	133	126								737	142	1,423	1,375	6,373	168	21	技と美の誕生	
16	46	1,052	116	285	14							1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	22	大トルコ展	
17	58	942	167	206	234							615	81	1,745	1,156	5,064	110	23	縄文の女神展	
18	51	993	191	115	42							828	109	1,805	863	5,154	89	24	山の民と海の民	
19	52	12,988	2,908	498	355							20	802	1,546	812	4,613	90	25	甲府盆地から見たヤマト	
20	55	647	428	164	582							506	9,468	2,035	729	51,241	985	26	世界遺産ナスカ展	
21	51	605	420	39	351							126	874	90	905	6,549	119	27	埋められた財宝	
22	51	453	236	40	390							116	667	68	1,128	5,068	99	28	卑弥呼時代の黄泉世界	
23	50	810	338	92	1,124							112	652	44	961	4,329	85	29	発掘された女性の系譜	
24	50	12,437	4,782	193	999							111	899	102	1,069	6,773	135	30	縄文土器名宝展	
25	55	563	1,504	104	674							605	18,095	1,309	2,404	64,865	1,297	31	インカ帝国展	
26	44	672	1,172	23	363							85	708	82	973	6,545	119	32	食いしんぼうの縄文人	
27	45	927	1,039	83	956							90	586	886	1,225	5,017	114	33	掘り起こされた音の形	
28	50	1,063	1,542		478							102	805	923	1,110	5,945	132	34	縄文の美	
29	46	929	1,182		699							81	964	943	973	6,044	121	35	よみがえる武士の魂	
30	51	4,948	4,666	35	4,114							76	1,032	949	1,177	6,067	132	36	ひつぎのヒミツ	
												319	8,507	899	1,718	25,981	509			古代アンデス文明展

学校関係利用状況

平成30年10月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外										合計	
	小学校		中学校		高校		計		小学校		中学校		高校		計							
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数						
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823				
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550				
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545				
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771				
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904				
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959				
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859				
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239				
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832				
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558				
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370				
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152				
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464				
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141				
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624				
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808				
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766				
26	65	2,989	17	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494	148	8,424				
27	62	3,026	14	361	5	266	81	3,653	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064	151	8,717				
28	63	2,841	16	767	2	96	81	3,704	48	3,089	12	815	1	5	61	3,909	142	7,613				
29	64	2,574	14	457	2	96	80	3,127	48	3,297	8	697			56	3,994	136	7,121				
30	51	2,126	12	472	3	165	66	2,763	51	3,606	5	262			56	3,868	122	6,631				
計	1,750	96,463	356	14,444	99	4,313	2,205	115,220	1,315	93,305	256	22,369	51	3,486	1,622	119,160	3,827	234,380				

(参考) H29年10月末現在

29	51	2,062	13	412	2	96	66	2,570	48	3,297	8	697			56	3,994	122	6,564
----	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	---	-----	--	--	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成30年10月末日現在 (単位:人)

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	増減		事業内容
					対H29 10月末比	H27～29平均 10月末比	
常設展 観覧者数	24,722	22,371	24,223	31,806	79.8%	81.6%	
特別展 観覧者数	5,945	6,044	6,067	25,981	※1 328.2%	※1 331.6%	H27: 10.6～11.23 H28: 9.28～11.23 H29: 10.4～11.23 H30: 5.19～7.16
企画展 観覧者数	13,076	13,047	15,464	8,829	△ 20.9%	△ 16.8%	企画展、わたしたちの研究室、富士山の日ミニ展示、山梨の遺跡展等
主催事業 参加者数	18,132	23,591	18,386	11,833	△ 16.6%	△ 27.3%	
講座等	760	572	1,061	626			史跡文化財セミナー、考古学講座、館長講座、縄文問答等
ものづくり教室	464	572	798	395			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,777	8,403	8,742	6,830			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鑄等)
イベント等	7,132	12,557	6,890	2,834			夏休み自由研究プロジェクト(アイメッセ)、夏休みスタンプラリー、縄文王国関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室発表会、考古博物館春まつり等
風土記の丘こどもまつり	999	1,487	1,095	1,148			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	2,343	2,210	1,763	507	※2 7.1%	※2 △ 4.7%	
風土記の丘望見展観覧者数	522	737	659				
施設利用	1,821	1,473	1,104	507			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H27: 1,548、H28: 2,967、H29: 2,455、H30: 1,679
総利用者数	64,218	67,263	65,903	78,956	※3 57.7%	※3 53.0%	

※1: 3月末比 ※2: 別掲のテニスコート利用者数を含む増減 ※3: 特別展観覧者数は3月末時点とし、別掲のテニスコート利用者数を含む増減

■委員提言に対する対応・検討状況について

No.	委員提言概要(H30.7.11)	事務局回答(H30.7.11)/対応・検討状況
1	・館長講座等を風土記の丘研修センターで実施しているが、交通アクセスが悪く、高齢者等の参加が難しい。県立図書館や県庁防災新館など、甲府駅周辺の会場で開催することは可能か。	・図書館や防災新館などは競争率が高く、ホテルなどは会場費が高額なため、甲府駅周辺の会場確保は難しい状況。良い方法がないか検討する。
2	・過去の館長講座などを、インターネット上で見られるようにしてはどうか。	・検討する。
3	・縄文関係で「縄文にハマる人々」「ライアの祈り」という映画があるが、考古博物館で上映できないか。	・「縄文」は当館のSNSに掲載すると反応が良く、さまざまな書籍が発行されており、一般の方の関心が高いテーマ。映画の上映についてはロードショー中ですぐには無理だと思うが検討する。なお、山梨県ではシアターセントラルBe館において9月8日～9月20日に上映された。
4	・「縄文王国山梨」を掲げているが、市町村との連携内容は何か。北杜市の梅之木遺跡を見てきたが、他遺跡との連携は感じられなかった。	・「縄文王国山梨」は実行委員会を組織し、市町村と関わっている。現在、梅之木遺跡を活用したイベントを検討しているところ。
5	・遺跡と植物はつながりが深い。井戸尻遺跡には古代のハスがあり、行く度に違う花が咲いている。遺跡を1度見て終わりではなく、継続し通う楽しさがある。そういった試みも重要ではないか。	・考古博物館ではなかなか難しいが、甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園全体でとらえると桜や紅葉、雪景色など四季折々で違った顔があるため、公園指定管理者と連携して公園のPRに努めていきたい。
6	・東京国立博物館の収藏品貸与促進事業の募集期間は。また、山梨県出土の収藏品は優先的に借りられるのか。	・平成31年度分は締切済(5月～6月)。平成32年度以降の特別展などに合わせて申し込むことは可能。地元優先ではないが、東京国立博物館の収藏品を地元の収藏品と一緒に展示することに意義があるという意見を聞いているため、交渉の余地はあり、利用を検討しているところ。
7	・イベント(事業)が多い。働き方改革が叫ばれる中でどのように対応しているか。	・県庁全体で働き方改革を進める中で、当館も業務改善を進めているところ。
8	・文化財保護法が保存から活用に大きくシフトし、民間との連携も重要とされた。東京発バスツアーなどの実施を検討すること。	・縄文王国山梨実行委員会における甲府駅北口イベント(縄文フェス)や埋蔵文化財センターによる県外ショッピングモールにおける啓発イベント等で山梨県の縄文土器をPRしているところ。また、「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産に認定されたため、今後活用の機会を増やしたい。
9	・甲府商工会議所には「山梨マンガ・アニメプロジェクト推進協議会」があるため、縄文に関するアニメ等を制作・放映し、多くの方に興味を持ってもらい、地域を歩き、観光につなげる、ということができると良い。山梨、長野、新潟などの複数県で経費を分担すれば対応できるのではないか。	・本年7月に日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」甲信縄文文化発信・活性化協議会を設立したところであり、他県と連携し事業を進めていきたい。
10	・遺跡を歩くツアーについては参加者の反応は良いものの、単発で終わりなかなか継続しない。山梨には現地で説明できるような遺跡が数多くあり、考古博物館はそのメインの場所になり得る。そういった旅行会社の企画に職員を派遣したら、企画が継続しやすくなるのではないか。	・昨今は旅行者のツアーを選ぶ目が厳しく、縄文土器だけの継続的な集客は難しい。自然や食べ物等とセットにした場合、効果的であるため、継続的な企画が実施できるよう検討する。

委員提言に対する対応・検討状況について

No.	委員提言概要(H30.7.11)	事務局回答(H30.7.11)/対応・検討状況
11	<p>・考古博物館の学校見学について、小学校は高学年でないと理解が難しく、中学校は教育活動が数多くある中で時間を作ることが難しいという現状がある。また、考古博物館についてあまり知らない学校職員がいるのではないかと考える。考古博物館の遺跡や出土品を紹介するDVDなどを学校に配布できれば、学校見学のきっかけになるのではないかと。</p>	<p>・昨年度、考古博物館や周辺の古墳、風土記の丘研修センターでの体験学習を紹介するDVDを作成し、県内や多摩地区等の各学校に配布するとともにHPで公開した。出土品等の紹介DVD製作については今後検討したい。</p>
12	<p>・学校見学に関して、考古博物館は引率がしやすく、集中して見学できる環境がある。施設が広すぎないことも小中学生が見学する上では利点。東京でも行う巡回展であっても、「山梨で見る魅力」を県外の教育関係者にPRすると良いのではないかと。</p>	<p>・多摩地域の小学校の見学は多く、中央自動車道のインターチェンジが隣接し、都心に行くより交通の便が良いことや、敷地内に本物の遺跡があることが当館の魅力であるため、多摩・京浜地域に対して積極的なPRに努めたい。</p>
13	<p>・現地にバスで行ける講座等は人気があるため、検討すること。</p>	<p>・年2回現地集合の史跡文化財セミナーを開催しているが人気は高い。今後の実施方法等については検討したい。</p>
14	<p>・北杜市には歴史関係資料館が5つあるが、入館者数の問題は深刻。県には日本遺産等で連携してもらいたい。梅之木遺跡は北杜市にとって大きな目玉。「みんなでつくる縄文」をテーマに市民参加でボランティアを募り整備しているところ。助言等を頂きたい。</p>	<p>・本年7月に日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」甲信縄文文化発信・活性化協議会を設立したところであり、今後日本遺産を活用した観光振興・地域振興を図るための事業が実施される予定である。</p>
15	<p>・山梨には多摩地域、神奈川の観光客が多い。これら県外や外国からの観光客を来館者として取り込めると良いのでは。また、将来のリニア開通を視野に入れ、考古博物館の運営を検討すること。</p>	<p>・本年7月に本県芸術文化振興のリーダー役である県立文化施設等6館(富士山世界遺産センター、図書館、美術館、博物館、考古博物館、文学館)の館長・所長による連絡会議を設置したところである。今後この会議と多様な者(観光、商工業、農業、地域団体、企業等)が連絡する中で諸施策を検討していく予定である。</p>
16	<p>・一の沢遺跡出土の土偶のキャラクター「いっちゃん」はどのように活用しているのか。キャラクターなどを通じて、縄文が身近にあるとPRできれば、より山梨や考古博物館を誇りに思えるのではないかと。現在、山梨が舞台のアニメを元にした聖地巡礼なども行われている。様々なメディアの利用を検討すること。</p>	<p>・「いっちゃん」は館のマークになっているが、キャラクターとしての利用が不十分であるため、利用方法等について検討していきたい。</p>
17	<p>・ツイッターは継続してほしい。一般人への浸透、話題づくりという点でメディアへの売り込みは重要。また、昨年度に県立文学館がマンガ作品とコラボした結果、東京から多くの方が来県。これまで関心を持っていない層に訴えかける手法として検討しては。また、常設展示の中で、体験型のコンテンツがあると子どもが何度も来館してみようと思うのではないかと。</p>	<p>・博物館の展示は見るだけではなく、実際に体験できる内容が必要であると考えている。このため、手に取れる土器等のコーナーを設けたり、研修センターにおいては勾玉づくりや火起こし体験を実施している。今後とも更に博物館に関心を持ってもらえるようなコンテンツの充実について検討していきたい。</p>

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成三十年十月二十二日～平成三十二年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	(株) 富士レークホテル取締役	井出薫子	社会教育関係
委嘱	山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合顧問	笹本森雄	社会教育関係
委嘱	(株) タンザワ代表取締役会長	丹沢良治	社会教育関係
委嘱	NHK甲府放送局局長	辻村和人	社会教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	中村京子	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	堀内正基	社会教育関係 (北杜市教育委員会教育長)
委嘱	山梨県PTA協議会副会長	窪田陽子	家庭教育関係
委嘱	山梨郷土研究会常任理事	石川博	学識経験者 (駿台甲府高等学校教諭)
委嘱	山梨県考古学協会名誉会長	田代孝	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	長澤宏昌	学識経験者
委嘱	国立大学法人東京大学准教授	堀内秀樹	学識経験者
委嘱	公立大学法人山梨県立大学職員	一宮英生	公募
委嘱	俳優	渡邊富孝	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	桐原ひかる	学校教育関係 (笛吹市立石和東小学校校長)
任命	山梨県高等学校校長協会	谷戸高志	学校教育関係 (県立韮崎高等学校校長)

(平成三十年十月現在)

出身分野別五十音順

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。
(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。